



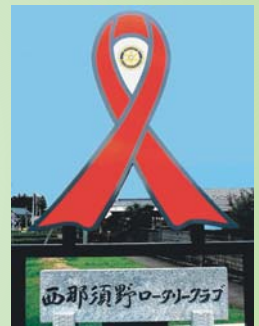
Service Above Self (超私の奉仕)
西那須野ロータリークラブ週報

Nishinasuno Rotary Club Weekly

・角橋 徹 西那須野ロータリークラブ会長テーマ・

親睦と奉仕の喜びを共有し
 ロータリーを心から楽しもう

第2182回(本年度27回)2017. 2. 21



RIテーマ

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY



地区テーマ

元気なクラブ作りと
 誠実な職業奉仕



橋本泰彦ガバナー

開会宣言・点鐘 会長 角橋 徹君
 司会 SAA 氷見 定明君
 ロータリーソング (四つのテスト)

会長の時間

会長 角橋 徹君

今月は「平和と紛争予防月間」、そして明日2月23日は「ロータリー創立記念日及び世界理解と平和の日」ですので、本日は身近な処でアジア・アフリカ地域の農業指導者養成を通じて平和と紛争予防、世界理解と平和への活動を実践している学校法人アジア学院の荒川校長先生に卓話を頂きます。

「平和と紛争予防月間」、「ロータリー創立記念日及び世界理解と平和の日」の月間目標は漠然としており、且つ非日常的な印象を持ててしまっていますが、我々のロータリー精神による奉仕活動全般が世界理解、紛争防止、平和へと繋がっていると確信致します。

特に、当クラブにおける海外姉妹クラブとの交流や、米山奨学生受入とカウンセリングなど、正に世界理解であり、その先には紛争防止、そして平和な世界が見えてくるのではないのでしょうか。

2月24日からフィリピン・パラニアックロータリークラブ創立43周年記念式典に会員5名、奥様3名の計8名で参加してまいります。式典パーティーばかりでは無く、パラニアックロータリークラブの社会奉仕活動である水頭症支援活動の施設、それから片柳パスト会長の切望による、スモークマウンテンなどの貧民街訪問などの企画をして頂

いております。私の妻はジャバ行きさんでしたが、それでも貧民街には行ったことが無いらしく、やはり是非行ってみたいと申しております。日本での経済格差による貧困が社会問題になっておりますが、アジア・アフリカ・中南米などの貧困は日本人の想像を遙かに超えておりますので、フィリピンの現状をこの目で見て、会員の皆様に伝え、先ずは日本国内では何が出来ののかを考えてみることも世界理解、そして紛争防止と平和へのアプローチになると思います。



本日の例会プログラム

- 12:30 開会宣言・点鐘 角橋 徹会長
- 12:31 君が代
- ロータリーソング (我らの生業)
- 12:34 お客様紹介
- 12:35 結婚・会員誕生・配偶者誕生祝
- 12:40 在籍年数祝
- 12:43 ロータリー財団地区奨学金授与
- 12:45 乾杯・お食事の時間
- 13:00 理事会報告 小出文雄次期会長
- 13:03 委員会報告 各委員長
- 13:05 幹事報告 鈴木 明裕幹事
- 13:07 会長の時間 角橋 徹会長
- 13:12 近況報告 福田園長
- 13:17 近況報告(4名) 飯塚さん、後迫さん
- 13:25 スマイルボックス報告
太田 仁スマイルボックス委員長
- 13:28 出席報告 猪瀬康雄出席委員長
- 13:29 閉会宣言 点鐘 角橋 徹会長

幹事報告

幹事 鈴木 明裕君

- 黒磯RCより週報が届いております。
- 本日お客様のアジア学院院長の荒川様よりお土産を頂きました。
- 2/28最終夜間例会は休会です。
- 何海燕さんは本日が最後の例会です。静岡県富士宮市に転居とのことです。今後のご活躍をクラブ員一同応援致します。頑張ってください。お土産を頂きました。
- 1:30から理事会です。
- 手続き要覧が届きました。各自ボックスに入れました。
- 各自のボックス整理をお願いいたします。片付かない場合は3月中旬に整理させていただきます。

外来卓話

「世界理解月刊」

アジア学院 アジア農村養成専門学校

校長 荒川 朋子様

日頃より、皆様には西那須野RCとしても、またロータリアンおひとりおひとりとしてもアジア学院を多方面からご支援いただいていますことを心より感謝申し上げます。

アジア学院のことはすでにご存知の方が多いと思ひまして、アジア学院の概要につきましても、お元のパンフレットをご覧頂き、本日は世界56各国1,300人を越えるアジア学院の卒業生たちが母国でどんな活動をしているのか、ということを中心に話をさせていただきたいと思っております。

ちょうどここ2年で立て続けに第三者によるアジア学院の研修の影響度に関する調査が2つ行われました。これは40年経って初めてのことで、「卒業生はいったいどんな活動をしているのか」、「自分のした支援はどのような形で世界に貢献しているのか知りたい」といった声、また要望に応えるものでした。長年卒業生の調査の希望は強く持ち続けていたものの、こういった調査は大変お金がかかるので、これまで実施することができませんでした。しかし3年前の40周年記念を機



にこの調査の必要性を訴えたところ、ほぼ同時期に複数の団体（アメリカの慈善団体と同じくアメリカのキリスト教団体）から助成をいただくことができ、2つの調査の実施が可能になりました。

ひとつはここ日本での研修自体の評価、そして主に2つの国の卒業生の影響度調査で冊子（「草根の架け橋」）の形で結果がまとめられました。もう一つは世界12ヶ国、229名の卒業生を現地に訪ねて、卒業生とその地域社会への効果、影響を調べたものです。こちらは物語風の本にまとめられました。（"Rural Leaders"「農村指導者たち」）まだ英語のみですが、まもなく日本語が出版されます。

2つの評価ともアジア学院に対して多くの課題を指摘したものの、私たちが自ら評価していたことと大きくずれることなく、総合的にアジア学院の研修と卒業生の活動を高く評価しました。そしてこれらの調査結果から分かったことは、私自身も大変驚いたのですが、世界に散らばる卒業生たちは想像以上に多種多様な環境で、多種多様な方法で、これまた非常に多様な問題に当たっているということでした。彼らの当たっている問題はどれも一筋縄ではなく、八方ふさがりになっていることが多く、その多くの問題は貧困が根本にあり、民族・宗教対立、差別、暴力、戦争、そして教育、環境等々、人々は想像を絶するような苦境の中にいて、それでもなおその状況を打開すべく自分の周りの人々の幸福のためになんとかしようとする人々がアジア学院にたどり着きます。そしてアジア学院で多種多様な人間と出会い、そこから学び、全く新しい自分に出会い、自分を変えられていきます。やがて元のコミュニティに戻る時には新し

い糸口を見つけて帰るわけですが、その新しい糸口というのは、具体的な技術であったり知識であることも多分にあるのですが、長期にまた最も効果的に働くのは、今まで見ることでできなかった農村のあるべき姿のイメージと、人や地域そして自然や神に対して献身的に謙虚に、全てのものと「共に生きる」ことを目指す姿勢でありました。そしてこれらのことが卒業生の活動の中に体现されていることがこれらの報告書を読んでよく分かりました。

実はこの2つの調査のうちの後者の本("Rural Leaders"「農村指導者たち」)の日本語訳の印刷の注文を数日前に出したばかりです。今日は間に合わなかったので最後の結論のところだけを印刷してお手許にお持ちしましたので、抜粋して読みたいと思います。

「教会で豚の飼育を指導する牧師。広い有畜複合農場がある孤児のための学校を開設する夫婦。かつて男の子の服を着て学校に通っていた女の子が、抑圧された自らの民族グループの女子が自分と同じように教育が受けられるよう、残る人生すべてをそこに注ぐ女性。難民に農業指導を行なう若い男性。これらはアジア学院卒業生が歩むあまたの多様な道のごく数例でしかない。ここに収められた物語が証しする通り、ひな型通りの道も、あらかじめ設定されていた道もない。それぞれがアジア学院での指導者研修の経験を持ち帰り、個々に備わった才能と生きる知恵をつなぎ合わせ、地域の人々に仕えるのに最もふさわしい仕方を実践に移していく。

(中略)

このモットー(「共に生きるために」)の言葉は卒業生の心に深く沁み込んでいく。人々の間あるいはコミュニティの間における関係性の構築といった文脈でとらえる者は多い。例えばインド、マニプール州のシャンナイダーの場合、長年の民族間対立や政治的暴力により分断された状況にある民族グループに、共に生きるよう働きかけている。またモハメド・マッキーンは、コミュニティにおける争いを早期に調停するため、仏教、キリスト

教、イスラム教、ヒンズー教のリーダーからなる諸宗教の委員会を立ち上げ、活動している。

"汝の隣人を愛せよ"といった意味を超えたものをそこに見る卒業生もいる。インドネシアのレインジャスティン・グルトムは「共に生きるために」を、「すべての被造物に、すべての世界に違いはありません。共に生きることができます。肌の色の違い、文化の違い、味覚の違い、その他いかなる違いがあっても共に生きることができます。人と人とが共に生きるというだけでなく、神の創造それ自体と共に生きることができるのです」と理解している。

今、世界が分断や排除という方向に向かっているのではないかとされています。多様性を重んじることで成長してきたアメリカが、それを自ら排除するような空気があります。そしてその不穏な空気が世界に波及しているような気もいたします。そんな中でアジア学院のような本当に微小な取り組みには違いないけれども、宗教や文化の違う人たちが共に生きるなかで人格的な関係を築き、人間にとってもっとも大切な食べものといのちを、平等な価値をもつ人間同士で力を合わせて作って、それによって生かされていることを知る場所があり続けるということはとても重要だと思っております。特にアジア学院での生活は若い世代にとっても重要な体験となっています。

そしてこのような昨今であるからこそ、アジア学院の過去43年の活動が、分断と排除とは全く逆の共生、融合、理解が多様性によって更に強められると信じる多くの方々(そこには多くのアメリカの仲間を含む)によって支えられてきたという事実、またこれからも支えられるであろうという希望を忘れてはならないと思っております。これはまたロータリークラブの目指すところとも同じであると確信しています。

どうかこれからも、この地域にあって、世界の草の根の指導者を養成するこの小さな学校をご支援して下さい。

最後に米山記念奨学金ではありますが、お手許に

用意させて頂いた資料（2014年4月2550地区RC月信掲載「アジア学院と米山記念奨学生」）にありますように、今年はアジア学院の学生が米山記念奨学金を頂くようになってからちょうど30年になる年であります。3年前のこの記事によれば、その時点で過去に202名のアジア学院の学生に対し総額2億4128万円のご援助を頂いたことになり、この数は日本人学生を除いた留学生の21%強、実に5人に1人のアジア学院の学生が米山奨学会のご支援の下に研修を積むことが出来たということになります。

ところがご存知のように、1昨年前に奨学生であったネパール人の学生が母国で大きな地震が起きた後の6月に所在不明となってしまった事件があり、それを機にアジア学院への奨学金は全てストップしてしまいました。もちろんほかにも至らない点が多々あり、それだけが理由ではないと思いますが、再びアジア学院の活動をご理解いただき、奨学金の援助にあずかる機会を与えていただけますよう切にお願い申し上げます。私もアジア学院に来て22年経ちますが、毎年学生と共に、地域のどちらかのRCの例会に必ずお邪魔して、様々な交流をさせていただきました。黒羽の花火大会、大田原のRCの皆さんとは宝塚歌劇団の鑑賞にも連れて行っていただき、途上国から来た学生にとっては、生涯忘れることのできない思い出になったことと思います。ところが今年は22年のアジア学院勤務で初めてどこのRCの例会にも出席をしなかった年となり、心にぽっかりと穴が空いたような気持ちでした。いつかまた今日のように地元のロータリアンの皆さんとアジア学院のメンバーとが交わる機会が与えられればと切望いたしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

米山記念奨学生卓話

何海燕さん

ロータリー米山奨学金の支援を受け、あっという間に一年間が経ちました。去年の4月に、西那須野クラブの皆様のお蔭で、経済の悩みから解放されました。過去の一年で就職活動、研究、学会発表、論文作成などを順調に完成し、充実な一年を過ごすことができ、感謝致します。世話クラブ

は経済の応援だけではなく、いろんな人と出会って成長できる場所です。例会に月に一度参加させていただき、自分の国の文化や自分のこと

を知ってもらい、また皆様からいろんな話を聞いたりアドバイスを頂いたりし、日本文化や習慣の理解をより一層深めてきました。自分は無口で、人と話すのは苦手です。例会の時、隣に座っている会員様と何の話をしたらいいかと悩んでいるとき、皆様が笑顔で、積極的に話しかけていただき、とても親しみやすいし、幸せだと感じました。また、例会以外でも米山奨学生としていろんな活動に参加させていただき、貴重な経験をし、ロータリーの親善と奉仕の精神を勉強しました。例えば、ふれあい祭り大会に参加し、募金するため、ジュースを売りながら、地元の人々とふれあいができてとても楽しかったです。また、西那須野ロータリークラブの45周年記念式典に参加し、海外・日本の姉妹クラブから会員様と交流し、自分の視野も広げました。自分の語学力を活かし、通訳役を務めて、少しでも役に立つことができうれしかったです。塩原ダム見学やクリスマス会など、思い出が沢山できました。

私は4月から、静岡県富士宮市に引っ越し、医療器材関連の企業で働くこととなります。将来は仕事で、ロータリーの精神である「四つのテスト」で求めている真実、公平、好意、友情を銘記し、世の中のお客様のために、より良い製品を提供するに精一杯頑張りたいと思います。

この一年間、皆様が私を見守ってサポートしていただいて、いろいろなことを教えていただいて、本当に心から感謝の気持ちを申し上げます。特に、カウンセラー高橋先生は、活動に関する情報の提供や個人の問題などを解決するためのアドバイスを頂きまして、誠にありがとうございました。

会員増強卓話

会員増強組織委員長 渡辺 渉君

2月15日角橋会長はじめ11名の会員、委員会のメンバーで、会員増強の本年総仕上げの強い意識



で過去に推薦の有った方、現在進行形の方々の見直しを行いました。個人情報にも抵触しますので、詳細は申し上げられませんが、30名



近い方々の推薦があがっております。那須塩原市は11万人を超える人口をもち、県北の中心市となれば、100名、200名の組織が出来てもなんら不思議なことではありません。数は力であり、地域の発展になくってはならない団体なのです。同じ会費、同じ目線、同じベクトルで向かっていくこの組織を心から誇りに思っ共に行動しようではありませんか。おそらく、3月には理事会を通して、皆様に推薦人の名簿が公表されることでしょう。今

回のこの会議は、高橋正晃委員(書記)は「会員増強委員会・作戦会議」と銘打って、メールを送っていただきました。そうなのです。一人一人の会員が作戦参謀の気持ちで参加戴けたなら西那須野ロータリークラブは多くの会員で、賑わいが戻ることでしょう。今ここに居る皆さんが、熱くなれば会員増強は実現するのです。

スマイルボックス委員会報告

委員長 太田 仁君

角橋 徹君 何海燕さんこれからも西那須野RCを忘れないでね。
角橋 徹君 アジア学院荒川校長先生、本日卓話ありがとうございます。

会員のひろば

鈴木 明裕君

台湾の景勝地"花蓮"

台湾"花蓮"と"大理石の太魯閣(タロコ)大渓谷"花蓮。皆様聞いたことがある言葉ですよ。昨年度グローバル補助金の申請の場所となったところです。台湾の景勝地のひとつである花蓮市の奥地の太魯閣(タロコ)国家公園があり正月に行きましたのでご紹介いたします。

花蓮市は台北の太平洋側の丁度反対側にあります。中央に山脈がありますので台北から特急電車で台湾の先端を回り行くのですが、丁度2時間くらいで到着します。電車は日本製で全席指定、乗り心地は悪くありませんでした。

花蓮市は太平洋に面した海岸の小都市です。日本との関係は深く日本統治時代に道路を作り海路

以外での交通を可能としました。当時は日本からの移住者も多く日本との関連が深い都市です。様々な色の大理石が名産です。現在は花蓮の原住民は国により保護されております。一部山間部にいますが殆どは市内にいます。性格は人懐っこく穏やかで宵越しの金は持たないタイプのように、すぐ使ってしまう事です。

ガイドさんは日大で留学経験のある女性の方で、米山の話をしましたら、お兄さんは東工大で妹さんも米山奨学生との事で感謝されました。

タロコ渓谷ですがとにかく綺麗です。大理石の大渓谷です。我々が行く少し前まで台風の影響で見学できませんでしたが、一応半分以上みられました。

注意は落石の危険があり危ないところはヘルメットを無料で貸してくれるところもあります。高さ100m以上の岩場の連続は圧巻でした。

今度桃園で1日時間がありましたら日帰りもできるので太魯閣も良いと思います。



大理石の大渓谷です



ヘルメット着用で観光



海岸からすぐ山間部です
タロコ渓谷はこの奥です。

角橋 徹君 先週蔵王スキー場で初スキーでしたが、何と春の雨嵐でした。脚前は未だ現役です。

角橋 徹君 今週末に片柳パスト会長、青山パスト会長、小出会長エレクト夫妻、小関国際奉仕委員長夫妻と計8名、パラニアックRC式典に行きます。

鈴木 明裕君 何海燕さん静岡でもがんばって下さい。1年間ありがとうございました。

鈴木 明裕君 荒川様本日はありがとうございました。

関谷 直人君 フィリピンパラニアックRC式典出席の皆さんご苦勞様。気をつけて行ってらっしゃい。

小出 文雄君 荒川様卓話ありがとうございます。

松岡 衛君 お花ありがとうございました。

小関 栄君 パラニアックRC、2月24日から訪問。角橋会長夫妻、小出夫妻、青山さん、片柳さん、そして小関夫妻で計8名で行って来ます。

月井 美好君 ようこそアジア学院長様。

片柳 洋君 法人会員です。プロジェクトをつくって新入会員になってもらいましょう。

福本 光夫君 アジア学院荒川校長様、カ・カイエンさんジョ・ジョウケツさんようこそ。月井さん羊のエサありがとうございました。フィリピンでロータリーの友情を深めて来て下さい。

寺崎 貴志君 IM後の二次会で誰もお金を取って下さらず、こちらに入れることになりました。

伊藤 進君 卒業シーズンの仕事が重なり欠席が多くなっています。御礼を含めて。

松本 善明君 台湾は涼しく、タイはとても暑かった。

高橋 正晃君 鈴木幹事、佐藤ガバナー補佐エレクト、地区チーム研修セミナーお疲れ様でした。鈴木先生ベンツ最高。

高橋 正晃君 クラブの皆様、何海燕が1年間大変お世話になりました。

青山 吉博君 荒川校長ようこそ。

伊藤 進君 奥様誕生祝

松岡 衛君 本人誕生祝

氷見 定明君 指定スマイル、キッズシェルターへ。

出席報告 出席副委員長 佐藤正一君			
2月21日 第2182回(本年度第27回) 会員数41名			
出席	28名	前々回2月7日	2180例会
欠席	11名	欠席	10名
出席免除者	2名	M・U	8名
出席率	71.79%	修正出席率	94.87%
欠席者		M・U	
榎本 建司君	高橋 智純君	福本 光夫君	鈴木ひろみ君
蜂巢 悟君	柳場美枝子君	蜂巢 悟君	高橋 智純君
生駒 憲一君	小中 一成君	池嶋 英哲君	
瓦井 昇君	森 英夫君	猪瀬 康雄君	
益子 浩君	大原 栄君	伊藤 進君	
鈴木ひろみ君		松岡 衛君	

	R C	曜日	例会時間	例 会 場	電 話
姉ク例 妹会 友ラ 好ブ 覧	パラニアック	月曜日	19:00	(D.3830) エルクスラブ・コンベンションプラザ	
	東水原	木曜日	18:00	(D.3750) 京畿道水原市八達区仁溪洞1030-2番地3階442-834	82-31-238-7822
	桃園	金曜日	12:30	(D.3500) 福容大飯店	03-326-5800
	新座	木曜日	12:30	新座市東北2-25-11 第2かきの木ビル406号	048-475-1122
	郡山安積	火曜日	12:30	郡山市山根町8-7 ヘルヴィ郡山館	024-923-1165
茂原中央	火曜日	12:30	茂原市小林1978-8 茂原卸商業団地会館1階	0475-26-1515	
近例第 隣会一 ク一分 ラブ 覧区	黒磯	水曜日	12:30	那須塩原市本町5-5 割烹石山	0287-62-0128
	塩原	木曜日	12:30	那須塩原市折戸148 塩原カントリークラブ内	0287-35-2211
	大田原中央	木曜日	12:30~ 最終木曜日19:00~	大田原市中田原2082-3 KATSUTAYA	0287-23-4165
	那須	木曜日	12:30	那須町大字高久丙1 ホテルエピナール那須	0287-78-6000
	大田原	木曜日	12:30	大田原市中田原593-3 大田原温泉・龍城苑	0287-24-2525
	黒羽	金曜日	12:30	大田原市黒羽向町2 ホテル花月	0287-54-1105

事務所 いたう家 那須塩原市扇町7-12 例会日 火曜日 12:30 例会場 いたう家 那須塩原市扇町7-12
☎0287-36-0028 FAX36-2854 ☎0287-36-0028

※2月のロータリーレート 1ドル102円